

2017年9月期 決算説明資料 2017年11月22日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2017年11月10日に2017年9月期決算を発表いたしました。積極的なビジネス展開により、**前期を大幅に上回る業績**となりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と厚く感謝しております。

2017年9月期のトピックスは、2つです。1つ目が**M&Aの実行**、2つ目が**研究開発等の事業投資の萌芽**です。

M&Aにつきましては、**株式会社シスウェーブと株式会社シー・エル・シーを完全子会社化**いたしました。当社グループ**事業ドメインの拡張が予定通り完了**し、今後の成長・貢献が期待されます。

事業投資につきましては、研究開発の成果として「**バスロケーションシステムのサービス開始**」、「**『情報掲示板A-ya』の販売開始**」、「**IoTセンサープラットフォーム『高分解測定モジュール』の販売開始**」がございました。投資案件では「Blue Planet-works社」への出資を通じた**セキュリティ製品「『AppGuard』の取り扱い開始**」がありました。

当社グループは、「**安心・安全・豊かな社会**」の実現に貢献すべく、「**Connected Car**」、「**自動運転**」、「**情報セキュリティ**」、「**デジタルサイネージ**」、「**VR/AR/MR**」、「**AI**」、「**ロボット**」への取り組みと同時に「**M&A戦略**」を推し進め、躍進的に事業拡大を継続してまいります。

引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

PCIホールディングス株式会社
代表取締役社長



1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期実績を大幅に上回る売上高 ⇒ P9

<2016/9 連結売上高>

通期実績： **8,504百万円**

(前期比8.3%増)

<2017/9 連結売上高>

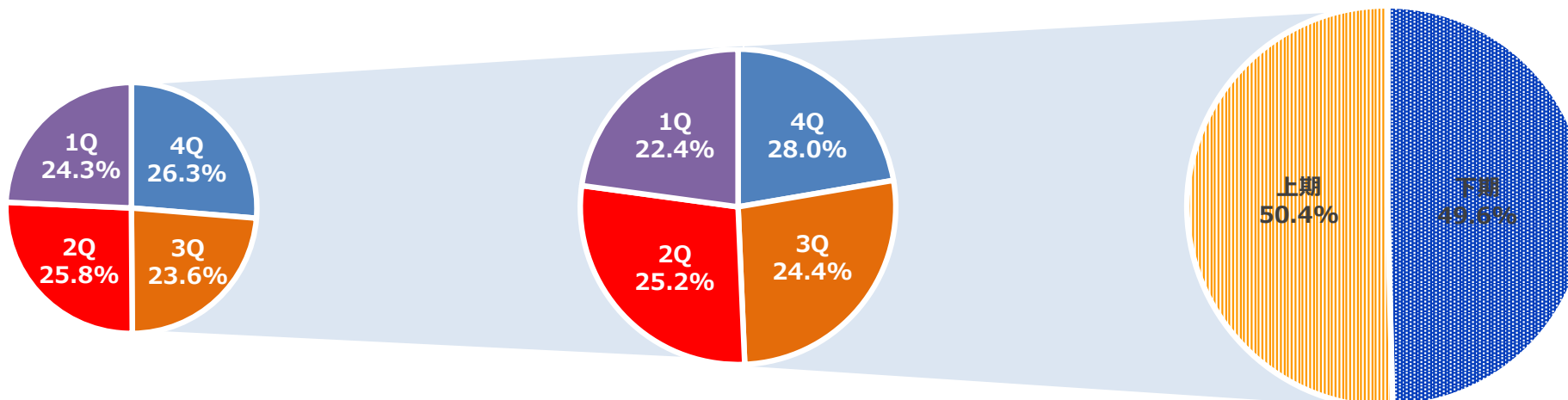
通期実績： **11,397百万円**

(前期比34.0%増)

<2018/9 連結売上高>

通期予想： **13,300百万円**

(前期比16.7%増)



2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた先行投資を実施 ⇒ P18~

- 株式会社シスウェーブ及び株式会社シー・エル・シーの完全子会社化
- 車車間通信を可能にする「V2Xユニット」のソフトウェア開発。神戸市バス全車両での運用が開始
- セキュアなコミュニケーション環境の提供を目指し、株式会社Blue Planet-worksへ出資。

「Appguard®」を情報セキュリティ製品へラインナップ。

1. 会社概要	3 ページ
2. 決算概要	7 ページ
3. 株主還元及び中期ターゲット	15 ページ
4. 今期重点施策	18 ページ
5. 参考資料	25 ページ

証券コード 3918
東証一部上場

PCIホールディングス株式会社

PCIグループ

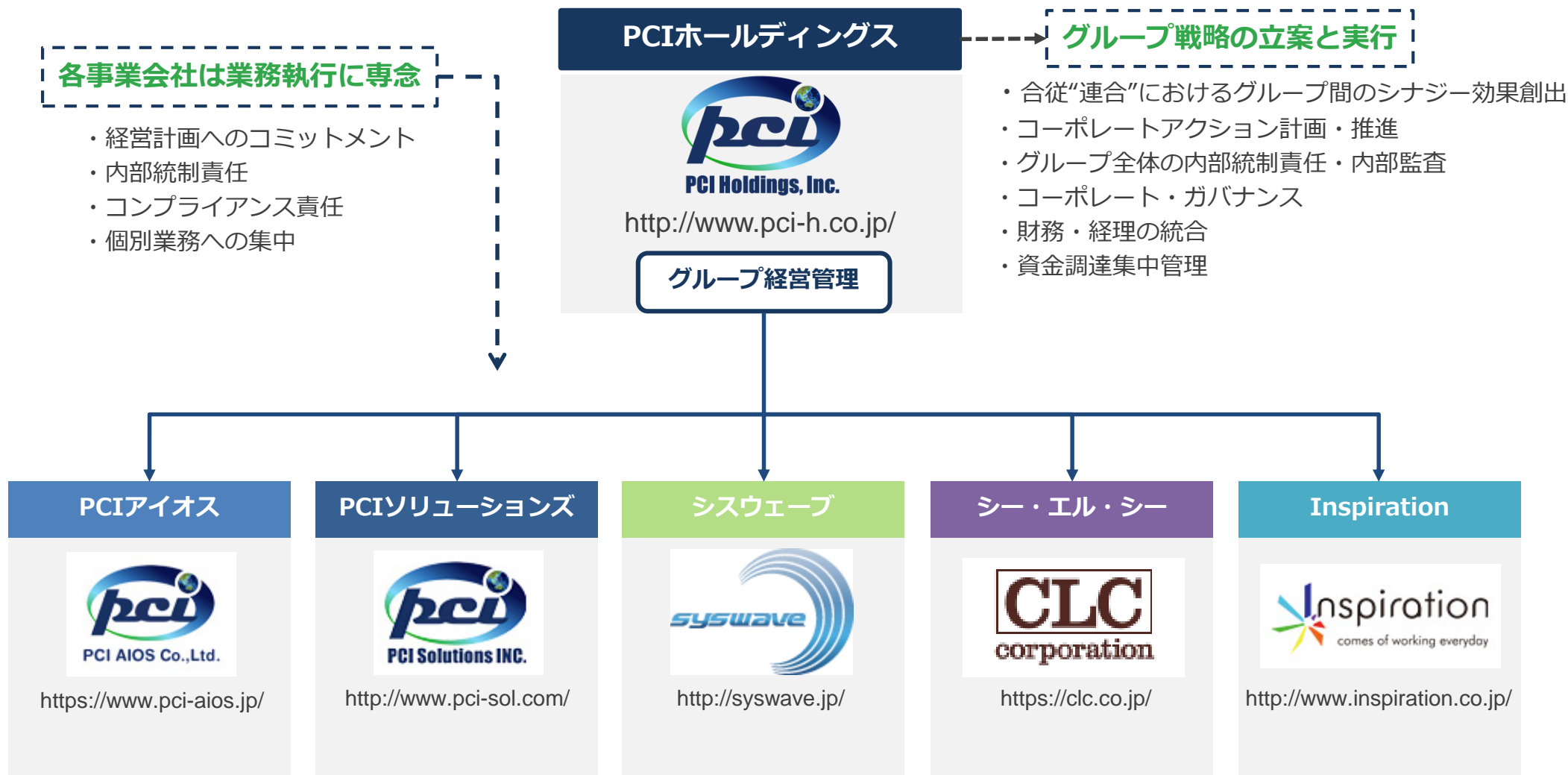
- PCIソリューションズ株式会社
- PCIアイオス株式会社
- 株式会社シスウェブ
- 株式会社シー・エル・シー
- Inspiration株式会社



1. 会社概要



PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます





シスウェーブ社の
高度な半導体技術

さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。
参入障壁は極めて高い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。
参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。
参入障壁は高くない。



IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。

エンベッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

ビジネスソリューション

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

成長分野

収益基盤
(安定成長)

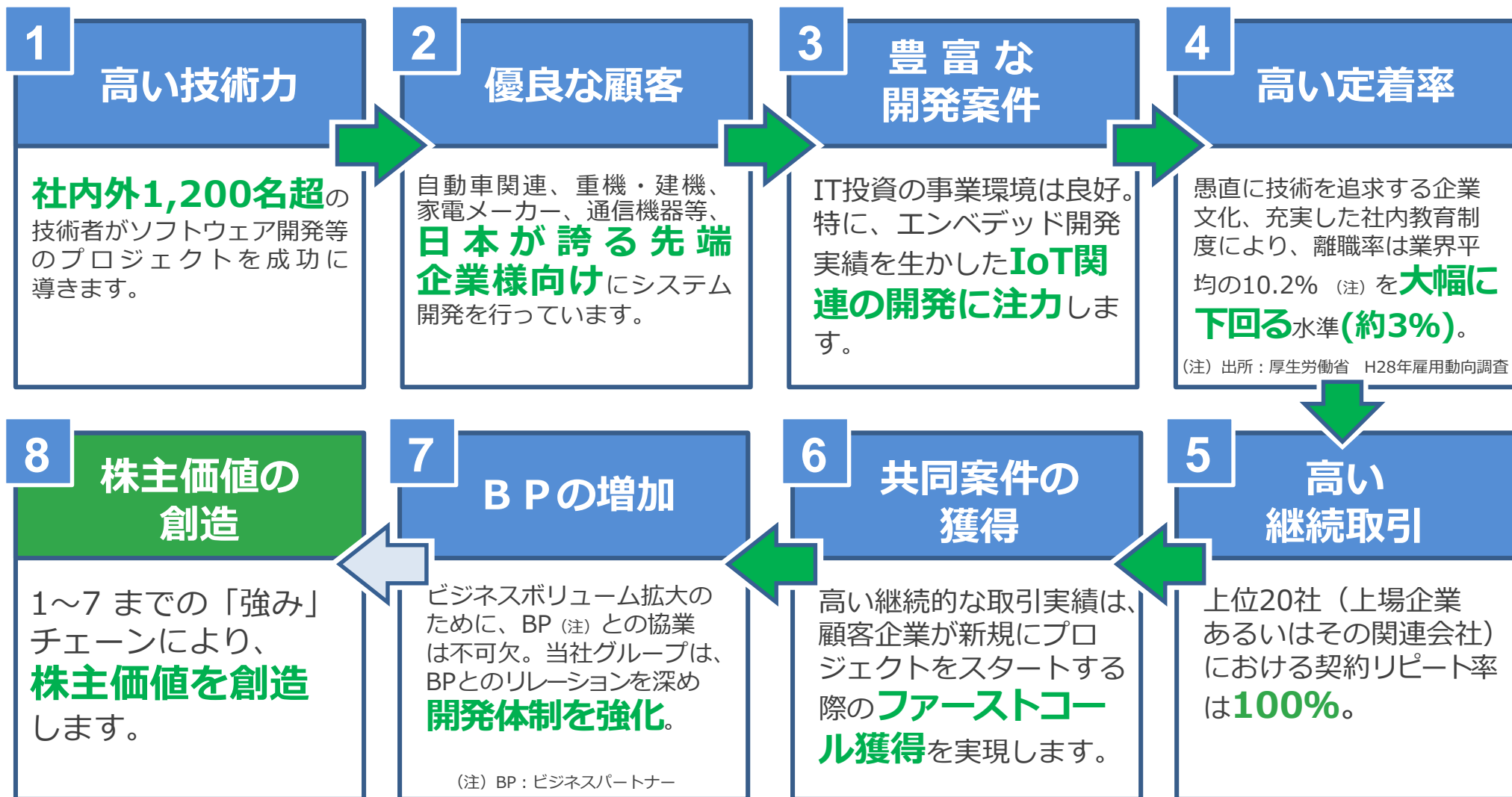
高い技術力の
源泉

PCIホールディングスの事業基盤

技術力 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組込み・半導体」

知的資本 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」



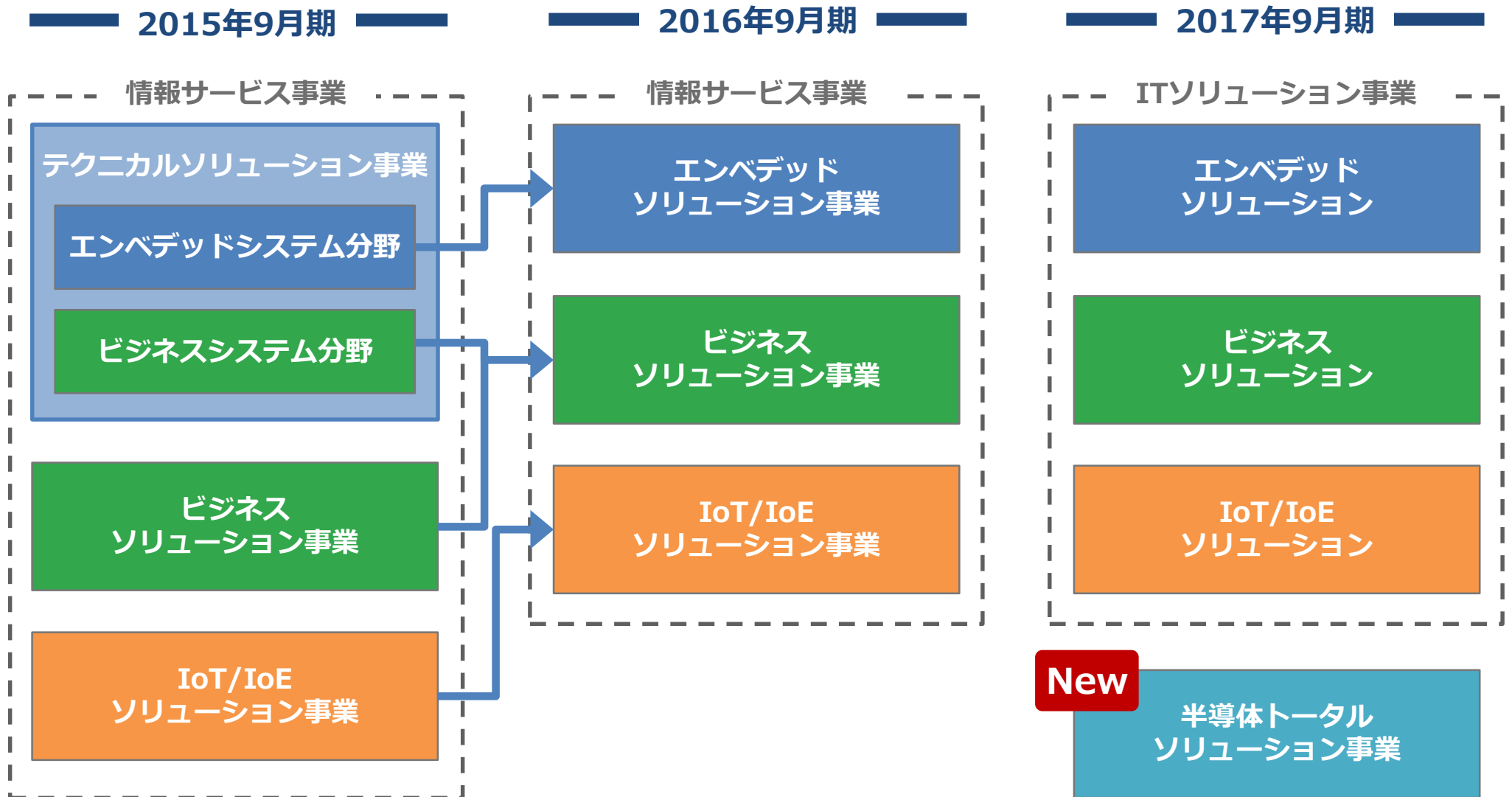


(注) 各データは、2016年9月期末時点のもの

2. 決算概要



<参考資料> 事業区分の推移について

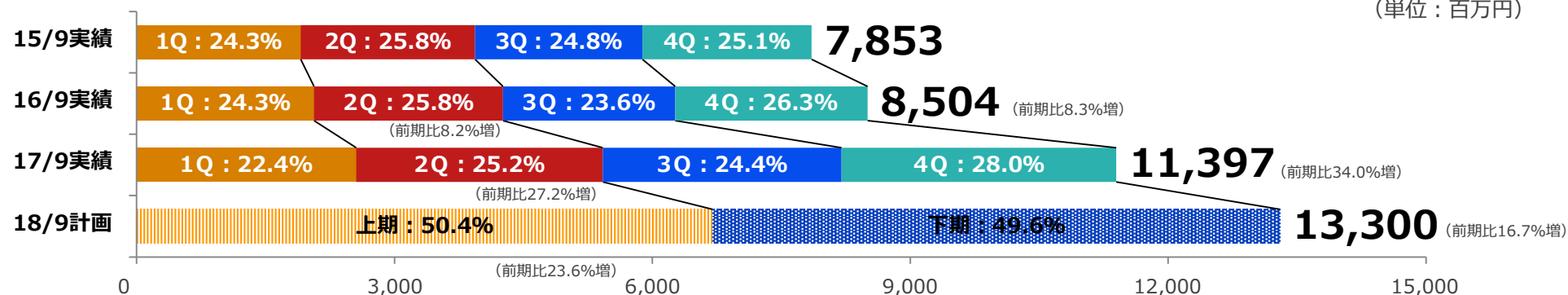


業績推移 (サマリー)

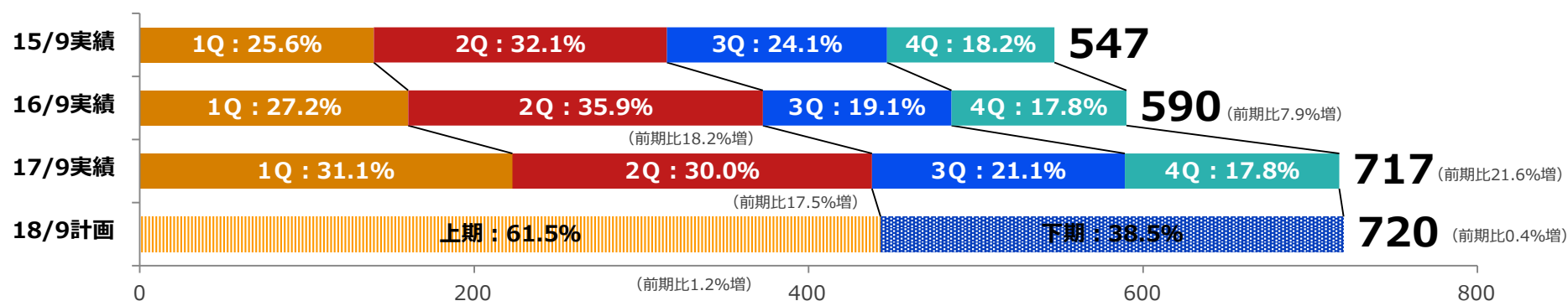


(単位：百万円)

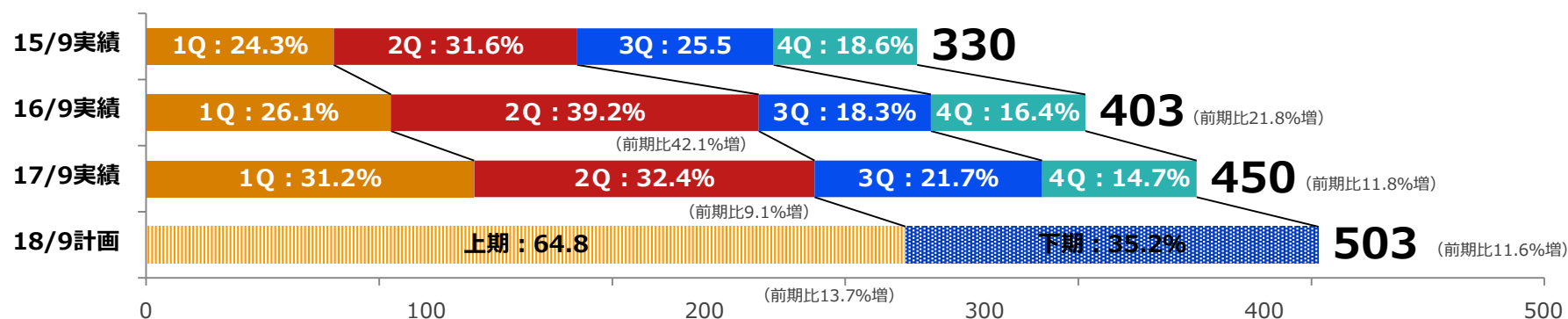
売上高



営業利益



当期純利益



2017年9月期 決算業績サマリー



【連続増収】

5期連続増収増益（営業利益）。M&A、エンジニア稼働率及びBP（ビジネス・パートナー）の稼働数が計画を上回り奏功。
プロパー人材を高収益案件へ移行し、収益構造改革を推進。

【投資拡大】

株式会社スウェーブ及び株式会社シー・エル・シー**2社のM&Aを実行。**
情報セキュリティ製品群の充実を目的に株式会社Blue Planet-worksへ出資し「**AppGuard®**」の取り扱い開始。

【研究開発】

神戸市バスロケーションシステム（**V2X技術**）の全路線サービス、位置情報活用サービス（**GPS通信技術**）開始。
特許技術を活用した先端技術の実用化進む。

(百万円)	17年9月期 (実績値)	対前期比		対計画比		16年9月期 (前期実績値)	17年9月期 (計画値)
売上高	11,397	+2,892	(+34.0%)	+897	(+8.5%)	8,504	10,500
売上総利益	2,699	+718	(+36.3%)	+95	(+3.7)	1,981	2,604
(売上総利益率)	23.7%	+0.4pt		▲1.1pt		23.3%	24.8%
営業利益	717	+127	(+21.6%)	+27	(+4.0%)	590	690
(営業利益率)	6.3%	▲0.6pt		▲0.3pt		6.9%	6.6%
経常利益	726	+134	(+22.7%)	+31	(+4.5%)	591	695
(経常利益率)	6.4%	▲0.6pt		▲0.2pt		7.0%	6.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	450	+47	(+11.8%)	+0	(+0.2%)	403	450
(当期純利益率)	4.0%	▲0.7pt		▲0.3pt		4.7%	4.3%
【1株当たりデータ】							
DPS (円)	50	±0	(±0.0%)	±0	(±0.0%)	50	50
EPS (円)	119.93	+1.14	(+1.0%)	+0.08	(+0.1%)	118.79	119.85
【財務データ】							
ROE (%)	13.7%	▲1.6pt		-		15.3%	-
自己資本比率 (%)	52.6%	▲19.5pt		-		72.1%	-

エンベデッドソリューション

～前年に引き続き、好調に推移～

- 開発実績と自動車業界における先進技術を用いた **安全運転支援システムを搭載したスマート開発**等の好調な需要を背景に、**既存顧客からの安定した引き合いが継続**。
- 車載関連、重機・建機等の自動車産業向け組込み系ソフトウェア開発では、**カーナビゲーション等の車載情報案件が引き続き堅調に推移**。
- 車載制御案件受注拡大に向けた取り組みで、**車載系 ECUにおけるモデルベース開発及びAUTOSAR開発案件の拡大、自動車向けチップセット開発案件**が増加し、総じて好調に推移。

当期における売上高構成比：**37.8%**

ビジネスソリューション

～BP強化で事業規模が拡大～

- **既存取引先との深耕拡大及び新規顧客の開拓**に努めるとともに、多岐にわたる顧客需要に応えるべく**ビジネスパートナーと更なるアライアンス強化**及び戦略的な利益率向上施策に取り組む。
- 企業向けソフトウェア開発においては、**金融機関向け及び産業・流通業向け案件が好調に推移が好調に推移**。
- 平成29年4月からの**都市ガス自由化によるシステム開発及び保守需要**を取り込み、売上に大きく貢献。

当期における売上高構成比：**42.2%**

IoT / IoE ソリューション

～自動車向け、エネルギー業界向けは好調に推移～

- 神戸市による「**市バスを情報通信基地とするバスロケーションシステム**」に利用される「**V2Xユニット**」を活用したソフトウェア開発の推進に注力。
- 位置情報を活用した**イベントアプリのデータベース**を構築。**ARを活用**したイベントへの**技術提供を開始**。
- **再生エネルギー業界**向け分野において主要顧客の事業規模拡大に伴う**案件受注が増加**。

当期における売上高構成比：**6.2%**

半導体トータルソリューション事業

～主要顧客からの引き合いが好調に推移～

- 自動車向け・産業向け半導体需要の増加による国内外半導体市況の好調を背景に、**主要顧客からの継続的な受注**に加えて、**既存顧客深耕**による売上が伸長。
- 強みである**DFT技術に基づく回路設計**案件継続拡大。
- **テストセンター案件の受注が増加**する等総じて好調に推移し、技術の開発に向けた積極的な研究開発投資を吸収

当期における売上高構成比：**13.8%**

連結損益計算書



2016年9月期

2017年9月期

(百万円)	上期	3Q	4Q	通期	上期	3Q	4Q	通期
売上高	4,262	2,005	2,236	8,504	5,422	2,779	3,195	11,397
エンベデッドソリューション	2,000	980	1,129	4,111	2,054	1,092	1,159	4,305
ビジネスソリューション	1,834	872	913	3,619	2,200	1,160	1,452	4,814
IoT / IoE ソリューション	427	152	193	773	409	131	162	703
半導体トータルソリューション	-	-	-	-	758	395	420	1,574
売上原価	3,228	1,508	1,786	6,523	4,098	2,136	2,463	8,698
売上総利益	1,033	497	449	1,981	1,324	642	732	2,699
エンベデッドソリューション	463	225	212	901	487	225	218	930
ビジネスソリューション	426	220	184	831	457	233	328	1,020
IoT / IoE ソリューション	143	51	52	247	147	43	63	255
半導体トータルソリューション	-	-	-	-	231	140	121	492
販管費	661	384	345	1,391	886	491	604	1,982
営業利益	372	112	104	590	437	151	128	717
営業外収益	12	2	1	16	4	1	7	13
営業外費用	2	1	11	15	1	1	2	4
経常利益	382	114	95	591	440	151	133	726
税前利益	382	114	95	591	440	151	113	706
法人税等	119	40	28	188	153	54	47	255
親会社株主に帰属する当期純利益	262	73	66	403	286	97	66	450

※半導体トータルソリューション事業については、2017年9月期より追加された区分であるため、前期実績の内訳は掲載せず

連結貸借対照表

流動資産	3,898	5,395
現預金	2,239	1,935
売上債権	1,419	2,862
その他	239	597
固定資産	480	1,134
のれん	7	100
投資有価証券	195	534
その他	277	500
資産合計	4,378	6,530
流動負債	1,119	2,563
仕入債務	282	695
借入・社債	-	254
その他	837	1,613
固定負債	103	532
社債	-	290
退職給付に係る負債	4	126
その他	98	116
負債合計	1,222	3,096
純資産合計	3,155	3,433
負債純資産合計	4,378	6,530

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2016年9月期	2017年9月期
営業活動によるCF	334	645
税金等調整前当期純利益	591	706
減価償却費	34	49
のれん償却額	3	16
売上債権の増減額	-149	-468
たな卸資産の増減額	1	144
仕入債務の増減額	51	68
その他	-199	128
投資活動によるCF	-212	-616
有形固定資産の取得	-3	-23
投資有価証券の取得	-185	-271
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	-336
その他	-23	14
財務活動によるCF	628	-403
長短借入金及び社債の純増減額	-	-223
配当金の支払額	-133	-186
その他	761	7

(百万円)	18年9月期 (計画)						17年9月期 (実績)
	上期	対前期比	下期	対前期比	通期	対前期比	
売上高	6,700	+1,277(+23.6%)	6,600	+624(+10.5%)	13,300	+1,902(+16.7%)	11,397
売上総利益	1,828	+503(+38.1%)	1,654	+278(+20.3%)	3,482	+782(+29.0%)	2,699
(売上総利益率)	27.3%	+2.9pt	25.1%	+2.1pt	26.2%	+2.5pt	23.7%
営業利益	443	+5(+1.2%)	277	▲2(▲0.9%)	720	+2(+0.4%)	717
(営業利益率)	6.6%	▲1.5pt	4.2%	▲0.5pt	5.4%	▲0.9pt	6.3%
経常利益	446	+5(+1.2%)	274	▲11(▲4.0%)	720	▲6(▲0.8%)	726
(経常利益率)	6.7%	▲1.4pt	4.2%	▲0.6pt	5.4%	▲1.0pt	6.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	326	+39(+13.7%)	177	+13(+8.0%)	503	+52(+11.6%)	450
(当期純利益率)	4.9%	▲0.4pt	2.7%	▲0.0pt	3.8%	▲0.2pt	4.0%
DPS (円)	-	-	-	-	50円	±0(±0.0%)	50円
配当性向 (%)	-	-	-	-	37.6%	▲4.1pt	41.7%
EPS (円)	86.24円	+9.86 (+12.9%)	46.82円	+3.24 (+7.4%)	133.06円	+13.1(+10.9%)	119.93円

Tips!

来期計画のPOINT :

- 1) M&A実施企業の通期寄与 (売上高の成長、季節変動の影響拡大)
- 2) 移転に伴うコスト (運送等費用、家賃上昇、設備等減価償却費)
- 3) 次期を見越した先行投資 (グループ会社の拠点集約、先端技術の研究開発、積極的な人財採用)

3. 株主還元及び中期ターゲット



株主還元方針

安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
[連結配当性向：30%～50%を目安とする]

配当推移

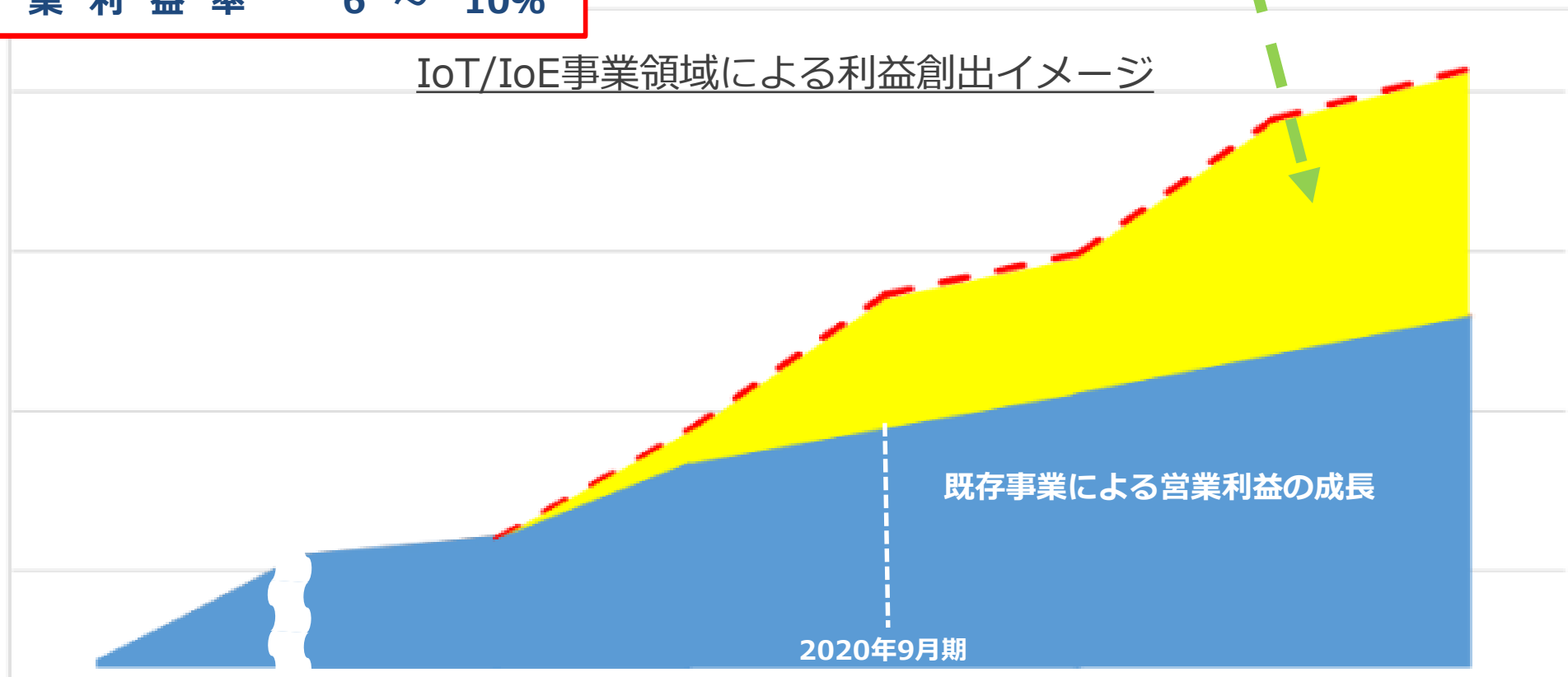
	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	50円 (普通配：50円)
配当性向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	37.6%

(注) 平成27年3月23日付で普通株式1株につき100株、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、マルチメディア放送等)
による増加収益



※IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、車向けマルチメディア放送、デジタルサイネージ等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。

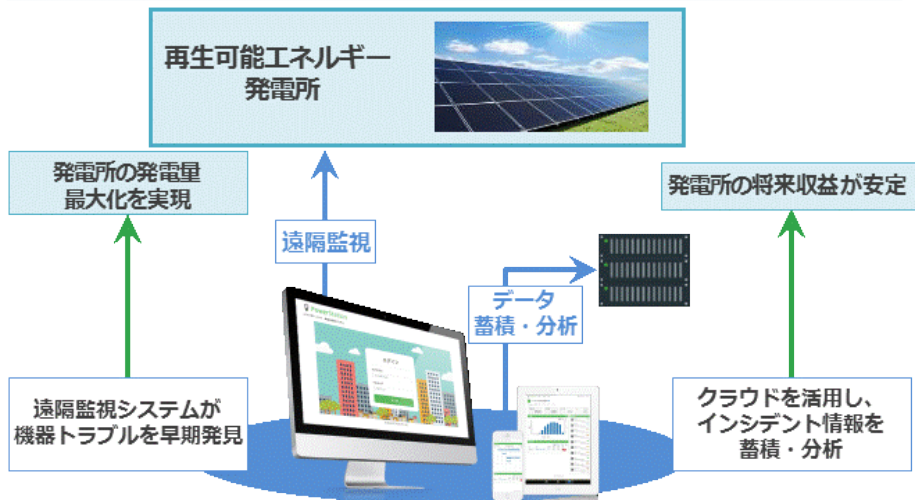
4. 今期重点施策



「Power Station」

再生可能エネルギー発電所の運用・維持管理業務（O & M業務）を支える統合管理システム。当社のIoT技術の活用によりした入手したさまざまな情報を収集・分析を行い、機器トラブルの早期発見、発電量の最大化を実現。

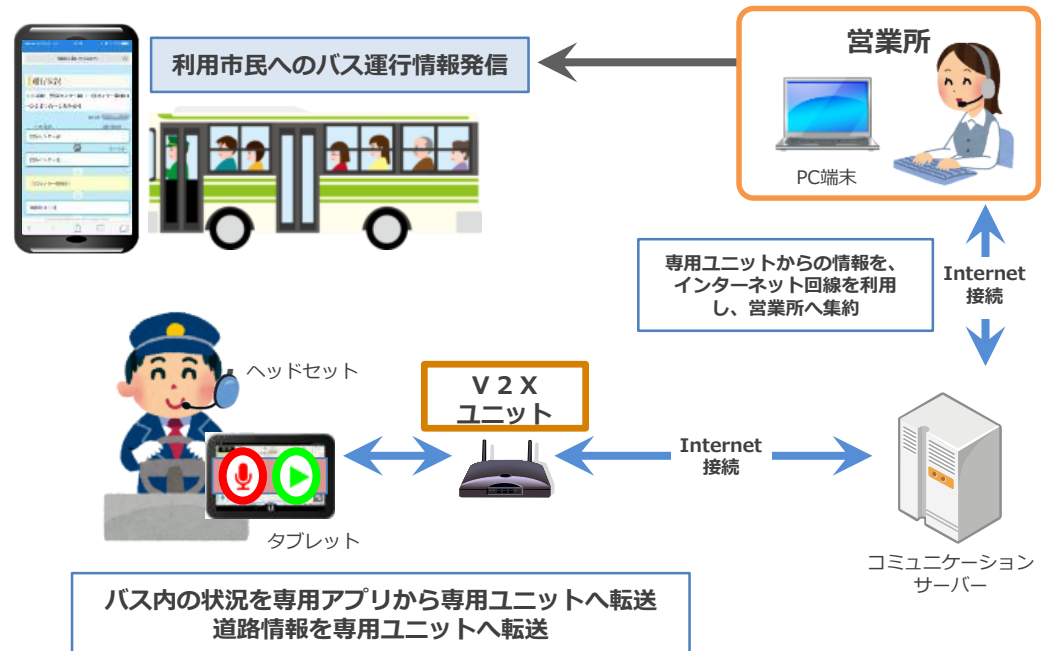
Power Stationを用いた再生可能エネルギー発電所運営の仕組み



「バスロケーションシステム」

Tips!

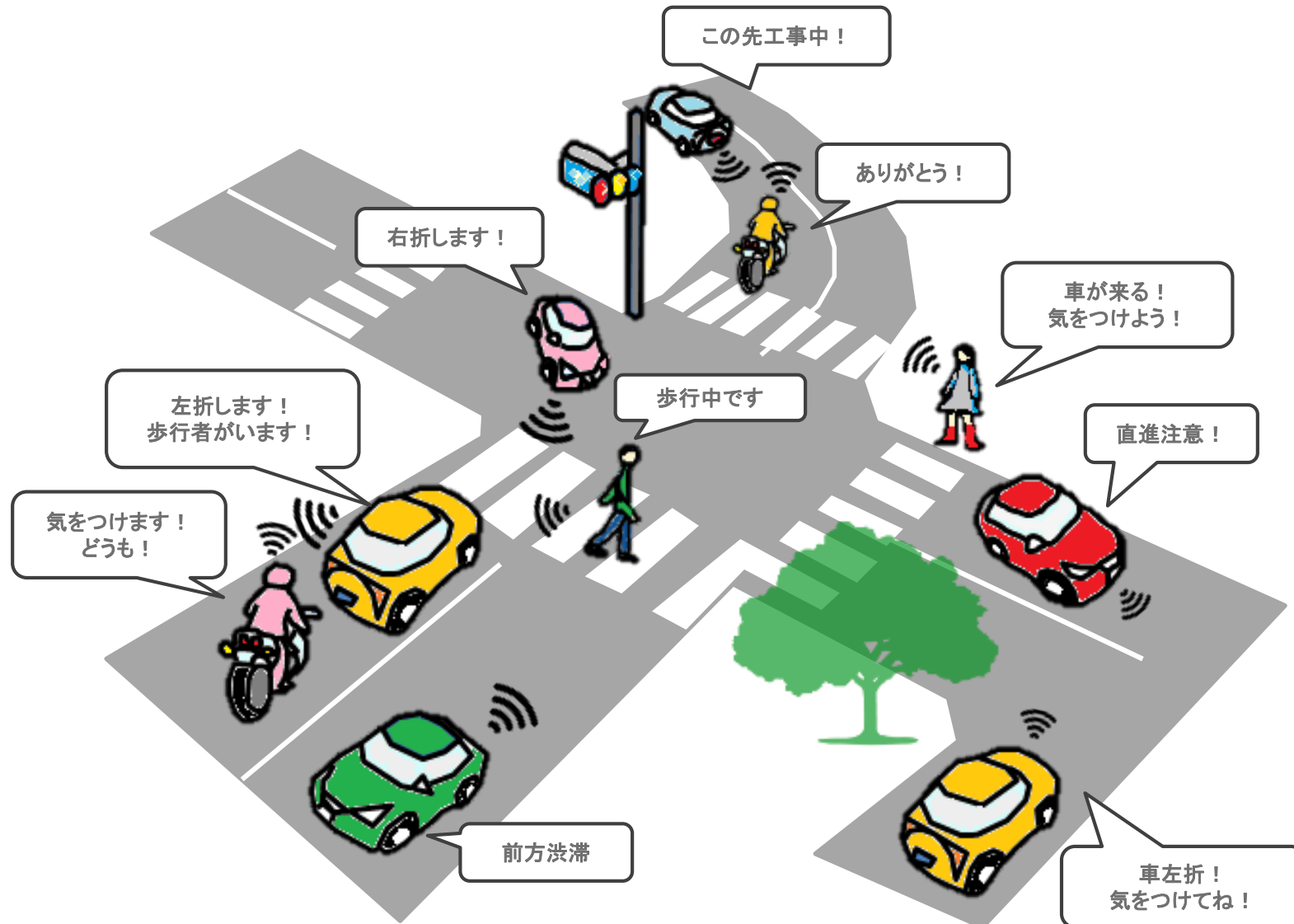
2017年4月1日 神戸市バス全路線にてサービス開始



V 2 X (Vehicle to X) : 車車間通信

V 2 Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は **V 2 Xユニットのソフトウェア開発**と **V 2 Xを活用した新サービスの提案**を実施。



非常時におけるアドホックネットワークの構築・活用

総務省主催「非常時のアドホック通信ネットワークの活用に関する研究会」に構成員として参画

☆研究会構成員

(主査)東京工業大学大学院 理工学研究科 教授 高田 潤一

東京大学 生産技術研究所教授 大石 敬

(国研)情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所
ディペンダブルワイヤレス研究室長 三浦 龍

(株)トヨタIT 開発センター 研究部 シニアリサーチャー 大西 亮吉

本田技研工業(株)四輪事業本部 事業企画統括部
グローバルテレマティクス部 サービス研究開発室 TC/技師 大石 康夫

(株)NTT ドコモ R&D イノベーション本部
サービスイノベーション部 担当課長 堀口 賞一

ソフトバンク(株)プロダクト本部 法人プロダクト企画部
プロダクト企画3課 課長 松本 善徳

(株)KDDI 研究所 執行役員 研究プロモーション部門担当 田中 英明

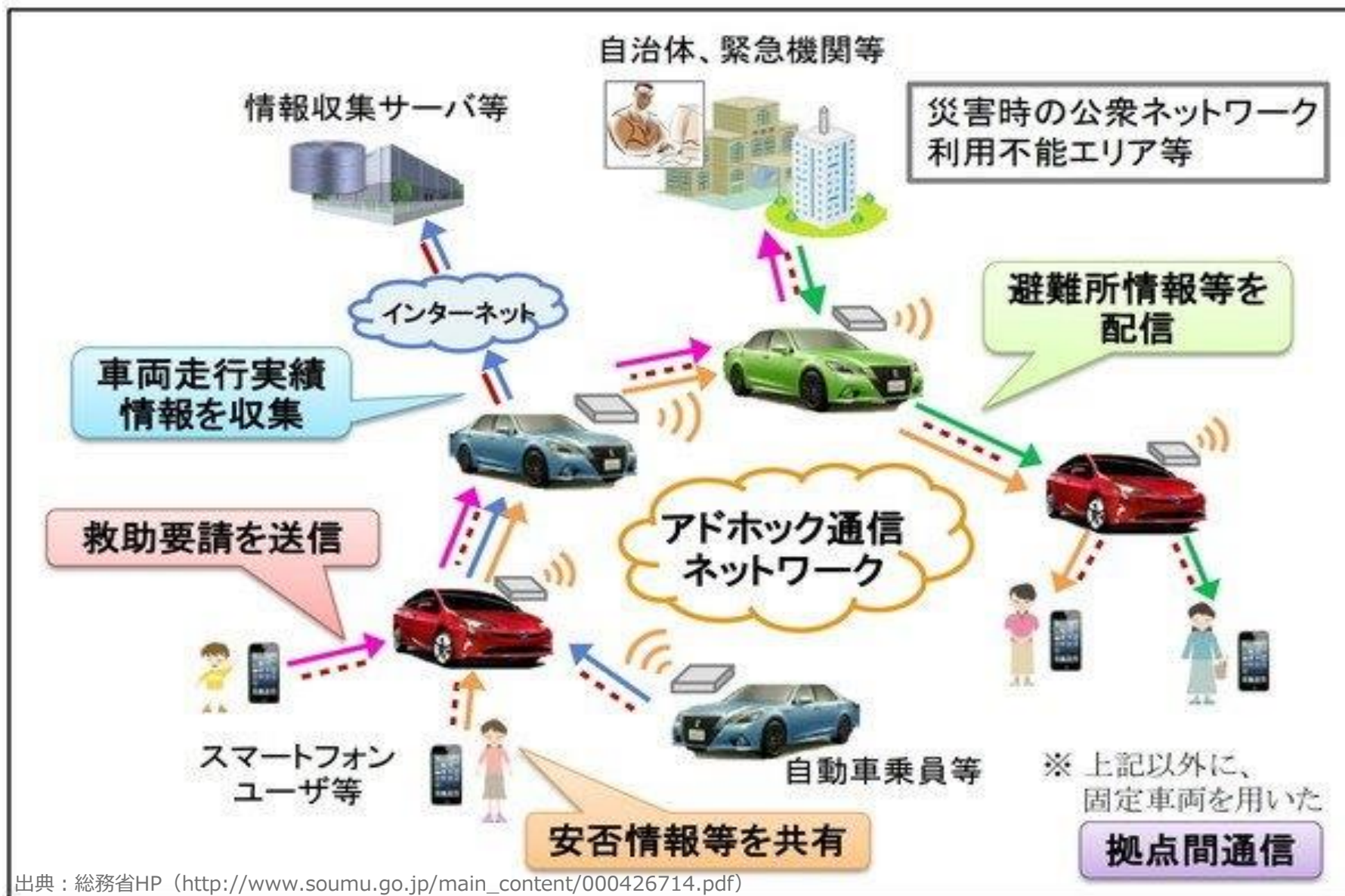
日本電気(株) システムデバイス事業部 技術部長 渡邊 敏博

沖電気工業(株)社会システム事業本部
交通・防災システム事業部 無線技術研究開発部 部長 浜口 雅春

PCI ソリューションズ(株) 執行役員 研究開発事業部 事業部長 清宮 幸夫

(順不同、敬称略)

「非常時のアドホック通信ネットワーク」イメージ図



出典：総務省HP (http://www.soumu.go.jp/main_content/000426714.pdf)

『こことろ』アプリを利用したエンタテインメント

☆AR/VRを活用したエンタテインメントアプリ『こことろ』

Tips!

👉 京都府と京都府観光連盟を中心とした位置情報活用アプリ



設定ポイントで撮影



『株式会社Blue Planet-works』へ出資

「安心・安全・豊かな社会のためのサイバーセキュリティの提供



アメリカ国防総省・アメリカ陸軍・アメリカ海軍・米国防省

etc

18年以上破られたことのない実績



Blue Planet-works

Safety for the Connected World



PCI Holdings, Inc.

5. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



企業理念

我々は、お客様の満足を通じて全社員の幸せを追求し、
そして社会の発展に貢献します。

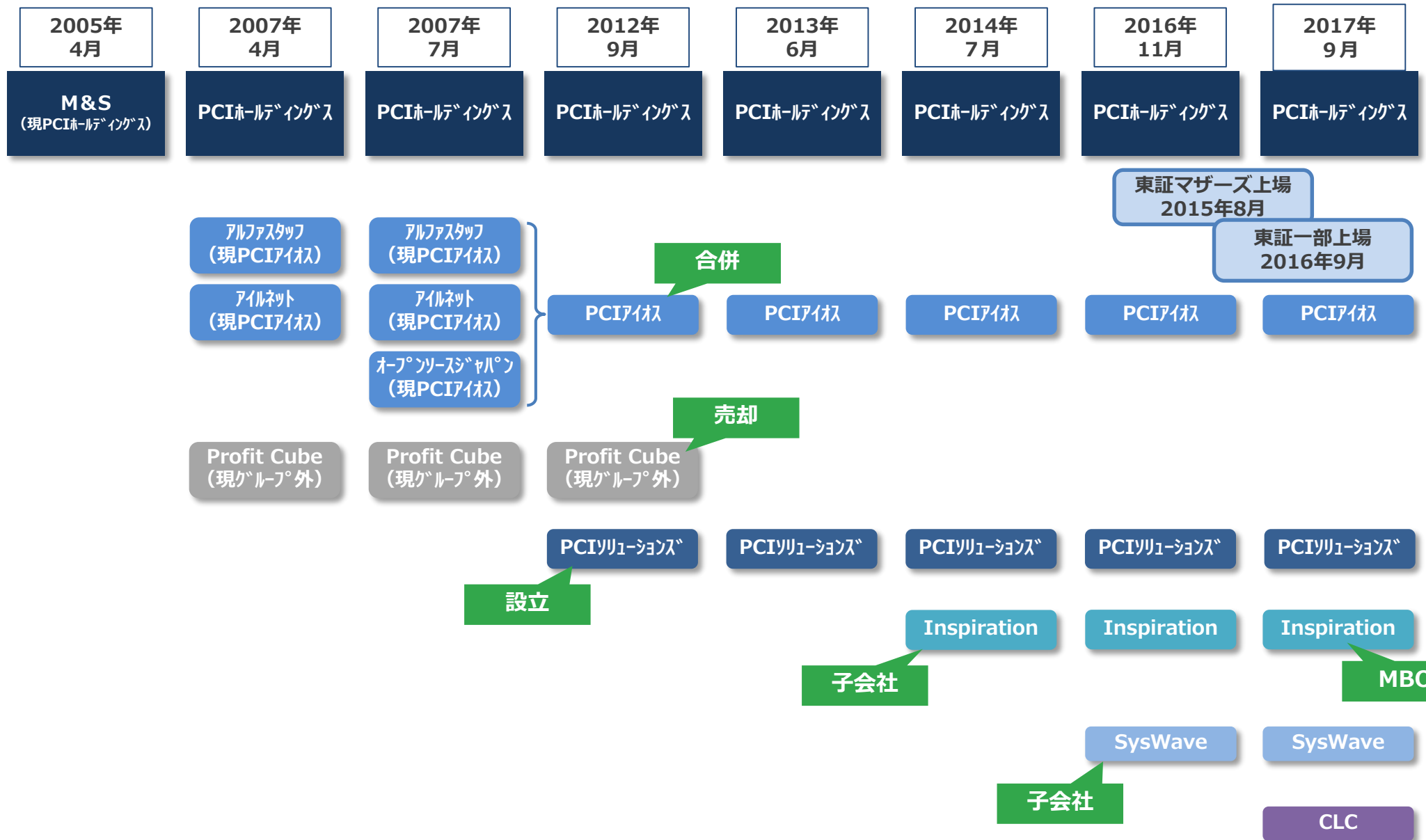
行動方針

- 安定した事業成長を実現します
- ユーザに適したソリューションを提供します
- 応援して頂ける企業を目指します
- 積極的（**P**）に変化（**C**）を求め、革新（**I**）します
- 全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を目指します

(注) **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



PCIソリューションズ

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IOE
ソリューション

当社グループの連結売上高の約90%を占めるソフトウェア開発事業会社。

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に答えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IOEソリューションへも展開している。

PCIアイオス

ビジネス
ソリューション

IoT/IOE
ソリューション

オープンソースソフトウェアを活用した、短期間且つ高品質な開発を得意とするソフトウェア開発事業会社。

オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

シスウェーブ

半導体トータル
ソリューション

LSIの世界を支えるテストエンジニア企業。

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

シー・エル・シー

ビジネス
ソリューション

ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進

- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。

お客様（主に製造業者）

〇〇な機能を開発して欲しいなあ

開発事例

<h4>カーナビ</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルで画面を切り替える機能 	<h4>自動車</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセルを踏むとガソリン噴射量を制御する機能 ・エンジン、エアコン等の制御機能 ・センサーによる自動駐車機能 	<h4>スマートフォン タブレット</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ表示の仕組み ・アプリケーションの基盤 ・データ通信機能 ・電波を切替える機能 等々 	<h4>デジタルカメラ</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・画面上的アイコン・ボタンメニュー等を操作する機能 ・シャッターを押してフォーカスを合わせる機能 ・画像処理機能 等々
--	--	---	--

要件定義・基本設計

発注

高い参入障壁
製造業者はリコールリスクを回避するため実績・信頼ある企業にのみ発注

製品にチップセット組み込み

納品

システム開発

詳細設計
↓
プログラミング
↓
テスト

```

18 $wc = new-object System.Net.WebClient
19 $wc.Proxy.Credentials = $cred
20 $wc
21 }
22 $wc = new-object System.Net.WebClient
23 $wc.Encoding = [System.Text.Encoding]::UTF8
24 $ret = Get-WebClient
25 $space2 = $wc.DownloadString("URL")
26 Write-Output $space2 | Out-File $downloadPath
27
28 # From top page, get url for each page
29
30 foreach($line in $downloadPage)
31 {
32     if ($line.Contains("class=nav"))
33     {
34         $item = $line.Split(" ")
            
```

開発したプログラムをチップセットに格納

チップセットとは、ある機能を実現するための集積回路の組み合わせのこと。ソフトウェアの開発力でハードの複雑な機能を実現する。

多岐にわたる機能を必要とする機器のシステムは、最先端技術を駆使し、複数のハードウェア・ソフトウェアを組み合わせ開発しています。

※上記は一例になります。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。

IoT (Internet of Things)

コンピューター等の情報・通信機器だけでなく、センサーや家電など様々な「モノ」をインターネットに接続させ、通信させることで、遠隔計測、自動認識や制御等を行うこと。

IoE (Internet of Everything)

IoTよりも広い概念。ヒト・モノ・プロセス・データ等がインターネットにつながり、相互に通信が可能となる技術や状態、仕組みのこと。

AUTOSAR : (AUTomotive Open System ARchitecture)

車載ソフトウェアプラットフォームの仕様の名称及び自動車業界のグローバル開発パートナーシップ。

V2X (Vehicle to X)

自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やモノ (X) とを通信でつなげること。

オープンソースソフトウェア (Open-Source Software)

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードをインターネット等により無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布が行えるソフトウェアのこと。

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 グループ戦略室
E-mail ir@pci-h.co.jp

